



浅井さん；午前の参加で感想が聞けませんでした。

石川さん；良い天気の下、自然を万傑し季節を感じられて良かった。

土方さん；何時も詳しい説明に恐れ要りました。樹木はこれまで余り説明して貰えなかった  
ので良かった

越前　　：下見では気づかなかったことが解ったことや地元の方と触れ合え、イロイロ教えて  
貰えて良かった。



## ◆12月の植物観察会のポイント2点

### ●植物の長寿

生物の寿命とは何でしょうか？動物で一番長寿なゾウガメは百五十～二百年といわれています。ところが屋久島の縄文杉は樹齢七千二百年ともいわれ現在も健在です。他にも神代ケヤキは1000年、今日見たイヌグスも200年近く生きています。

樹木が長生き出来るのは、必要なエネルギーを自ら光合成で生産し、肥大成長・木化によって、生細胞を最小限にしてエネルギー消費を抑え、かつ死細胞を蓄積して強固な樹体を構築していること、樹体の器官・構造が動物より単純で、損傷に対する抵抗力や再生力が大きい」といえます。このように樹木は、肥大成長をしながら木化することで、多くの恵みをもたらしています。



### ●ご神木のスギ

熊野神社のご神木のスギは幹回り4m 青梅の塩船観音と安楽寺は東京都の指定の天然記念物で6m前後 八王子の北の天満社のご神木が道路にはみ出ていると伐採されました。2017年から伐採を22回にわたり要求したが応じず2020年に1250万円かけて市側が伐採、青梅では下山八幡や谷野の木の下神社も近隣の安全の為に杉の木を伐採しています。和田の神社のご神木のスギも今年、伐採されました。ご神木として大事なスギも生きにくい時代です。巨樹の認定本数が一番多いのが杉で全国で15000本余り。



### ◆散策路の植物アレコレ

11月は行楽客で満員だった青梅線も12月は座って乗車。晴天の川井駅のホームに幾代会の7名がにこやかに下車。今月は武藤さんに初参加して貰い全員で自己紹介しました。駅の改札を出ると真っ赤に紅葉したブルーベリーがまだ落

葉しないで良い具合です。



奥多摩大橋

平成7年に出来た長さ265mの奥多摩大橋を渡り、斜張橋（しゃちょうきょう、塔から斜めに張ったケーブルを横に渡した橋げたに直接つなぎ支える構造）について説明すると須崎さんから「引っ張っているケーブルの太さが違う」との指摘。

なるほど確かに外側のケーブルが太い。横浜のベイブリッジや釜の緑公園のあゆみ橋も同じ構造でトテモ優美です。



熊野神社の権現鳥居



熊野神社の権現鳥居 旧

橋を渡ると人口100人チョットの梅沢集落です。

民家の庭先で赤い実をたわわに付けたナンテンやコムラサキシキブを観察。

ポカポカとした陽を浴び、お喋りも弾んで熊野神社に到着。あらまあ＝＝権現鳥居が新しく成っているでは有りませんか！驚きです。

石の階段を登り、ご神木のス



ミヤマシキミ

ギを観察。

女坂を下りると蕾をビッチリと付けたミヤマシキミ。

山で良く見かけますが有毒植物で、これほど花が多いのは雄株です。

雌雄異株のミカン科の常緑低木。

宝珠庵の本堂裏側を登り奥多摩町指定の天然記念物



梅沢のイヌグス

梅沢のイヌグスを観察。

これが本日のメインです。

斜面の下側に板根を張り風雪に耐えどっしりとした風格を備えたタブノキの巨樹で、樹勢もあります。

今月も持参した紐で幹回りを測って貰い、本当に有がとうございました。

パンフレットでは幹回りが6mと成っていますが、ナント7m以上も有りました。



浅井さんは午後、用事があるため帰らなくてはならないとのこと。

そこで、吉野街道の歩道を一列に並んでモクモクと西に向かい、お昼を食べる一心亭に到着しました。

お店でテーブルを並べて貰い 7 名一緒に仲良く美味しいお蕎麦を食べました。

コロナが収まりお店はまあまあのお客様で本当に良かったです。私たちが僅かですが売り上げに貢献！！

午後は再び奥多摩大橋を渡り、多摩川右岸の川井の集落を散策しました。



青梅街道から旧道を斜めに登り、キヅタ、マルバウツギを観察。地元の方になだらかな傾斜地は元、翠香園の馬場だったことを教わりました。

梅の花を愛でながら、お弁当を食べるには最高の場所です。

鎮守の川井八雲神社の女坂を登り、山の上の社に到着。

石川さんに都指定の川井八雲神社舞台と石垣積敷の説明板を読んで貰いました。う〜ん、納得です。

ありがとうございました。

積敷の階段を登り本殿横のモミの木を見て説明。

モミは材が白いので棺桶や卒塔婆に利用され、日の出町では全国の 6 割を作っている。美空ひばりは特製の棺桶をオーダーしたとか。

それはそうですね。

八雲神社の舞台をくぐって急階段を降り鳥居を抜けて、カーブの多い旧道に戻りました。



以前も観察会で来たことが有る旧古里中を抜けるとほどなくして赤い屋根の蟠竜院です。

此处ではサルスベリの特徴を説明。

- ① ピンクや白や赤色の花がきれい 何と云って百日紅と言われるだけあって花期が長い
- ② つるっとした幹もきれいで年中、楽しめる
- ③ 品種によって選べる大きさ



- ④ 和風の家にも洋風の家にも合う
- ⑤ 根付けば水やりの必要もない 楽ですね
- ⑥ 強剪定をしても枯れない丈夫さ
- ⑦ 日差しに強くて日よけになる
- ⑧ 弱点だった「うどんこ病」に強い品種も誕生 中国原産ミソハギ科の落葉植物。

スッカリ葉を落とした枝の先端の果実を土方さんのステックで取り、みんなで種を取り出して散布方法を調べた。

種の周りに翼が有り、風で遠くに運ばれる。

帰路は人通を下って川井駅に向かった。



橋の下から大きな葉のバショウが生え石垣には小さなマメヅタが今月も観察できた。

あるときは下を向いて、そしてあるときは上を向いて熱心に植物観察をする会員の面々でした。

つたない説明でしたがメモを取って聞いて貰いありがとうございました。

今月、いいえ今年も一年お世話になり有難うございました。

本年は 3 人もの新会員に入って貰い実りの多い嬉しい一年でした

越前記

